

# 「いいだの未来デザインを考える × 学輪 IIDA」の実施について

飯田市企画課

## 1 趣旨

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスにより、経済や政治、社会、文化など様々分野に深刻な影響を与え、人々の暮らし方（生活様式、働き方、行動、価値観等）にも大きな変化をもたらしている。今後の日本や地方の社会の変容は、現時点では見通すことは非常に難しい状況にある。

このような中で、飯田市の総合計画である「いいだ未来デザイン 2028」の中期計画を策定していくにあたり、学輪 IIDA の専門性やネットワークを最大限に活かし、コロナ時代のパラダイムシフトとリニア効果を見据えた飯田の未来について議論の機会を設け、中期計画の取組みの方向性や、地域の将来像を考える上での参考としたい。

## 2 実施内容

### (1) 検討会議

**内容** 専門分野からのコロナ時代のパラダイムシフトの捉え方と飯田(地方)の創生に関する課題を共有するためのオンライン討議を実施。

**参加者** 学輪 IIDA メンバー、市長、事務局（企画課）

**実績** 7月 9日(木)、13日(月)に2グループに分けて、市長を交えたオンライン討議を実施。  
学輪 IIDA メンバー延べ20名が参加

座長：法政大学名誉教授 石神 隆氏（いいだ未来デザイン会議専門委員）

### (2) いいだの未来デザインを考える集い（仮）の開催案

**日程** 8月～9月 テーマを設け数回開催 ※開催方法は新型コロナ感染状況を踏まえ検討

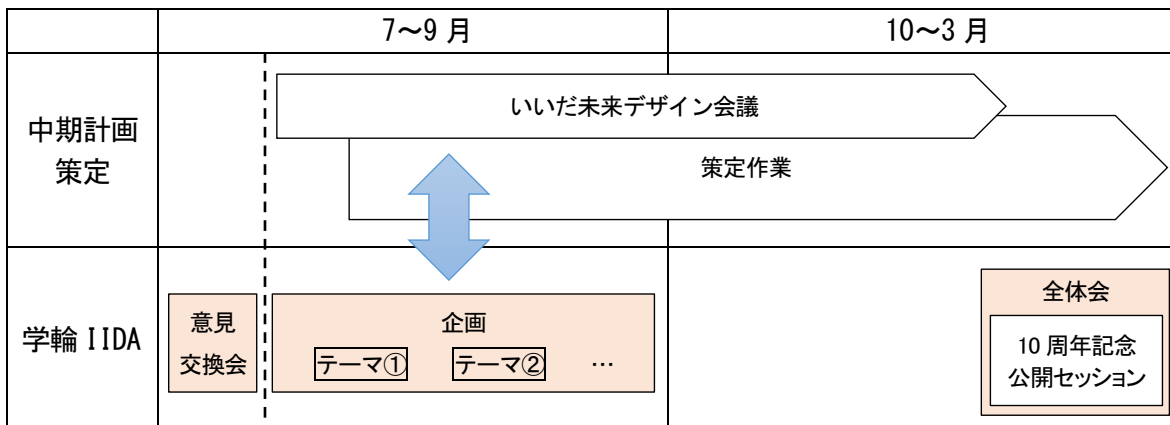
**参加者** 学輪 IIDA メンバー、市民、いいだ未来デザイン会議委員、市議会議員、理事者等

**内容** ・市民の皆さんにコロナ時代に向けた飯田の在り方について議論を深めていただく機会としたい。

・内容については、学輪 IIDA 意見交換会を踏まえ検討をおこなっている。

(シンポジウム、ミニ討論会等)

## 3 スケジュール



(参考)

パラダイムシフト研究と並行した中期計画の策定イメージ

